



PHP 脆弱性に対する弊社および各製品の対応について

日本時間 2026 年 10 月 21 日夜に PHP 脆弱性に関する問題が発表されました。

弊社 HP では PHP を使用しておりません。あわせてセキュリティ委託先との連携を強化しています。同時に契約中の製品提供先への状況確認を行いましたので、下記の通り報告いたします。(同 2026 年 10 月 23 日 12 時現在)

- ・ JURIS Online : PHP は使用していません。
- ・ beck-online : 本脆弱性の影響を受けていないことを確認しています。
また、C.H.Beck 社では、予防措置として、すべてのシステムおよびサービス提供事業者についても確認を実施済みです。
- ・ DBpia : PHP を使用している当該サーバーは、DBpia、KRpia、DBpia AI を含む当社の主要サービスとは無関係であることが確認されました。
さらなる予防措置として、関連するセキュリティシステムおよびサーバーに対して、必要な緊急セキュリティ対策はすでに実施済みです。
- ・ 教保文庫スカラー : Kyobo Scholar プラットフォームでは PHP を開発言語として使用していないことが判明しました。したがって、Kyobo Scholar は報告された PHP の脆弱性の影響を受けません。
- ・ 朝鮮日報 : 「朝鮮日報」のアーカイブサービスは、PHP 以外の言語を使用して開発されているため、このセキュリティ問題の影響を受けません。
- ・ LAWnB : PHP は使用していません。
- ・ IBFD : 日本時間 22 日にサービス障害が発生しましたが、同日夜問題は解決され、現在通常状態に戻っています。
- ・ brepolis : PHP は使用していません。

- ・ DSI：製品サーバーにおける PHP の潜在的な問題については、すでに解決済みです。したがって、PHP に関する問題は一切ありません。
- ・ WCO：報告された PHP の脆弱性は、当社の eShop にのみ影響を及ぼしており、「World Competitiveness Online (WCO)」データベースには影響が及んでいないことを確認いたしました。
- ・ DeGruyterBrill：問題となる事象は報告されていません。
- ・ kuselit-online：2026 年 10 月 21 日 15 時から 22 時（中央ヨーロッパ夏時間：MESZ）の間、利用を一部制限しました。22 時以降、最新パッチの適用が完了し、サービスは再び全面的にご利用いただける状態となっております。
- ・ 東亜日報：確認中
- ・ MBO：確認中

状況に変更があった場合には、追ってご報告いたします。

エヌオンライン有限公司
システム事業部